

# ふるさとの川づくり年次計画



令和8年3月

丹波篠山市

## 目 次

ふるさとの川づくりとは	P. 1
ふるさとの川づくりの概要	P. 1～P. 3
管理手法の導入と課題	P. 3
未来への展望と持続した地域づくり・川づくりの実現	P. 4
付随する関連計画・指針ほか	P. 4～P. 5
ふるさとの川づくり年次計画表	P. 6
計画個票①～⑮	P. 7～P. 21
おわりに	P. 22～P. 23

策定年月 令和8年3月

計画期間 令和8年度～令和12年度

# ふるさとの川づくり

## ふるさとの川づくりとは

みなさま、「あなたにとってふるさとの川とは何ですか？」と尋ねられた場合、思い浮かぶのは、毎日目にする近所の川や、子供の頃に楽しんだ川遊びの記憶、あるいは誰かと一緒に歩いた川辺の道など、多様な景色かもしれません。ふるさとの川は、一つの理想的な形ではなく、それぞれの人によって異なる意味を持っています。

例えば、

川に入って潜ったり泳いだりすること

生きものを探したり採ったりすること

水遊びを楽しむこと

川原で遊ぶこと

川に生息する生きものや草花を愛でること

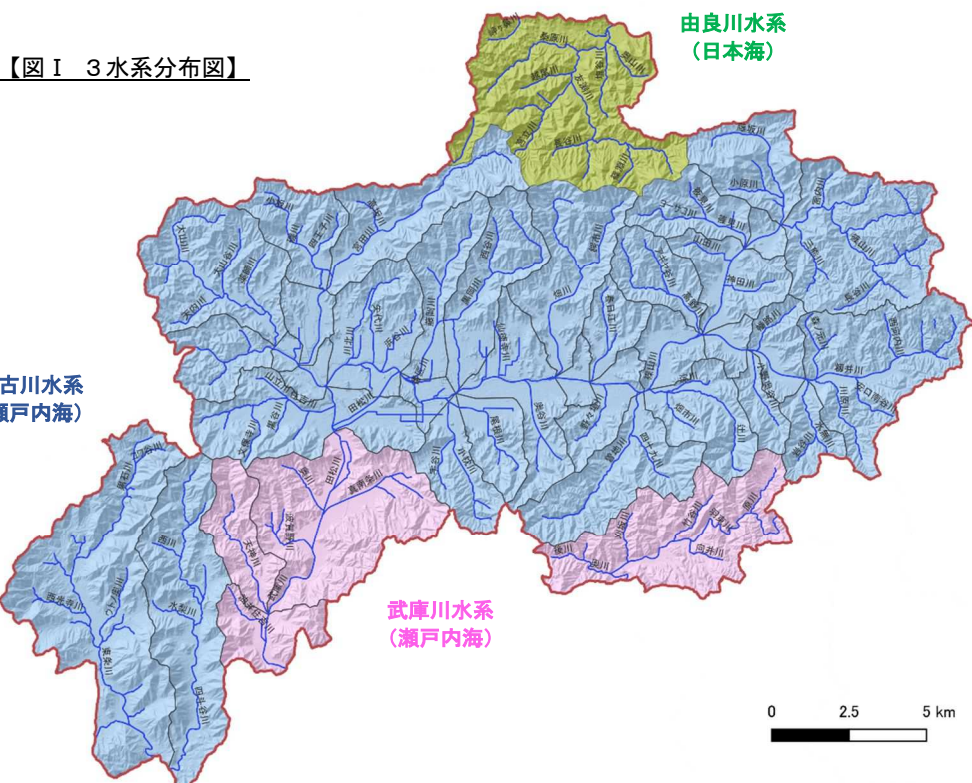
川沿いを歩いたり周囲を散策したりすること

これらすべてが、ふるさとの川との関わり方として挙げられるでしょう。それぞれの思い出や体験が、その人自身のふるさとの川を形作っています。

このようなさまざまな河川の利用方法によって、自分にとっての「ふるさとの川」が形成されていくと考えられます。丹波篠山市では、市内の複数の場所で多様な利用が可能な川を整備することで、その地域が誰かにとってのふるさとの川となることを目指しています。

## ふるさとの川づくりの概要

丹波篠山市は兵庫県中東部に位置し、瀬戸内海に流れる加古川水系・武庫川水系、日本海に流れる由良川水系の3水系【**図 I 3水系分布図**】の源流域のまちとして豊かな自然環境を有しています。周囲には山々や平野が広がり、その中を流れる河川は地域にとって欠かせない存在であり、この地理的背景が丹波篠山市におけるふるさとの川づくりの重要性を物語っています。

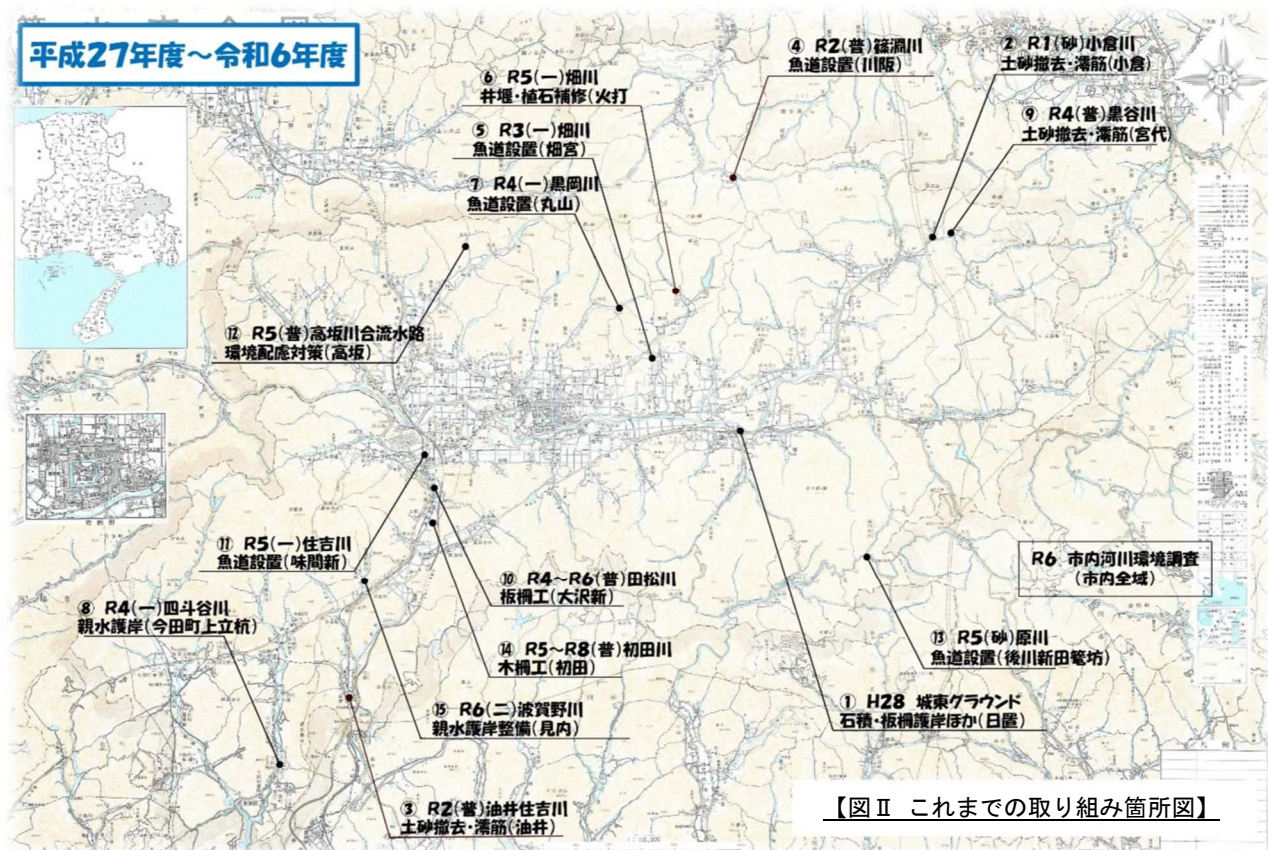


ふるさとの川づくりは、河川環境を保全するだけでなく、生きものの生息域や文化的価値を再生することを意味し、そのアプローチとして、地域住民や文化、歴史との調和を重視し、自然の視点と人間の生活を調和させることで、持続的な環境を作り出すことを目指しています。

また、地域のみなさまの協力なしには成り立ちません。地域のみなさまの河川環境への保全・再生への重要性を理解いただき、積極的な協働・参加により、地域全体が一体となって持続可能な川づくりを推進します。

これまでの川づくりでは、生物多様性の保全を重要視した取り組みを進めてきました。具体的には、河川に生息する生きものの生息場所を目的として落差部の解消などを進め、また、瀬や湍筋形成や多自然型護岸などにより、各所に生息する生きものに適した生態系が存在する環境を創出することで、生物多様性保全と地域の自然環境再生への質向上にも努めています。【写真Ⅰ 代表事例集】

水辺の魅力を活かした川づくりとして、せせらぎでの子どもたちの川遊びや飛び交う蛍の鑑賞などの川辺の観察スポットを設け、人々が自然と水辺に親しみを深める環境を整えることで、地域のみなさまや訪問者が自然と触れ合う機会や、また、市内の子どもたちによる水辺と触れ合う機会を通じて、川の重要性を広める活動をはじめ、地域特性を踏まえた周囲との調和の取れた川づくりに取り組んできました。【図Ⅱ これまでの取り組み箇所図】



【図Ⅱ これまでの取り組み箇所図】

## 【写真Ⅰ 代表事例集】



④ 篠淵川魚道設置（川阪）



⑧ 四斗谷川親水護岸整備（今田町上立杭）



⑪ 住吉川魚道設置（味間新）



⑬ 原川魚道設置（後川新田笹坊）

## 管理手法の導入と課題

川づくりには、執行予算における財源と環境配慮に優れた人材の確保が不可欠です。しかし、限られた執行財源の中での取り組みには、環境配慮に特化した計画・整備内容への課題となることがあります。また、地域のみなさまへのふるさとの川づくりへの理解と協力を得ることが最も重要な事項です。

これまでの川づくりにおいては、地域による多種多様な環境に適応した設計・整備を計画しているため、整備・改良後の持続可能な管理手法が重要です。具体的には、それぞれの地域に特化した地形や気候に基づいた河川管理、定期的なモニタリングや検証、5年に一度の巡回点検を実施し、結果によっては、生息・生育・環境保全への要因に対する必要な改善を図ります。

川の重要性を認識し、地域参画を促すためには次世代を担う子どもたちへの教育課程での環境意識の向上や地域のみなさまへの継続的且つ効果的な周知・啓発活動が大きな課題であり、持続した地域のみなさまに対する理解を深めるための取り組みが求められています。

また、近年の線状降水帯の発生による局所的な豪雨などの気候変動に伴う自然災害への備えも重要であり、川の管理においてもこれに対する備えが必要です。洪水や土砂崩れなどのリスクに備えつつ、自然環境の保全と再生方法を見つけることが求められています。

## 未来への展望と持続した地域づくり・川づくりの実現

ふるさとの川づくりは、将来を担う子どもたちや地域のみなさまが自然との共生を図りながら持続可能な未来を目指しています。環境教育やイベントを通じて、次世代に渡る環境意識の醸成が重要であると考え、人々が集う地域の既存公園や広場などの観光資源と連携した川づくりを進めることで、経済的な発展も同時に実現することが期待できます。今後は、既存の地域資源を活かした新たな取り組みへの展開や川づくりを通じたマップ作成により更なる事業啓発を計画します。

参加型の川づくりの推進として、各学校園との調整により、工事期間中への協働・参画を図り、また、地域からの河川への要望や意見を取り入れた「参加型の川づくり」を進めることで、地域全体で共有することができる計画を構築します。

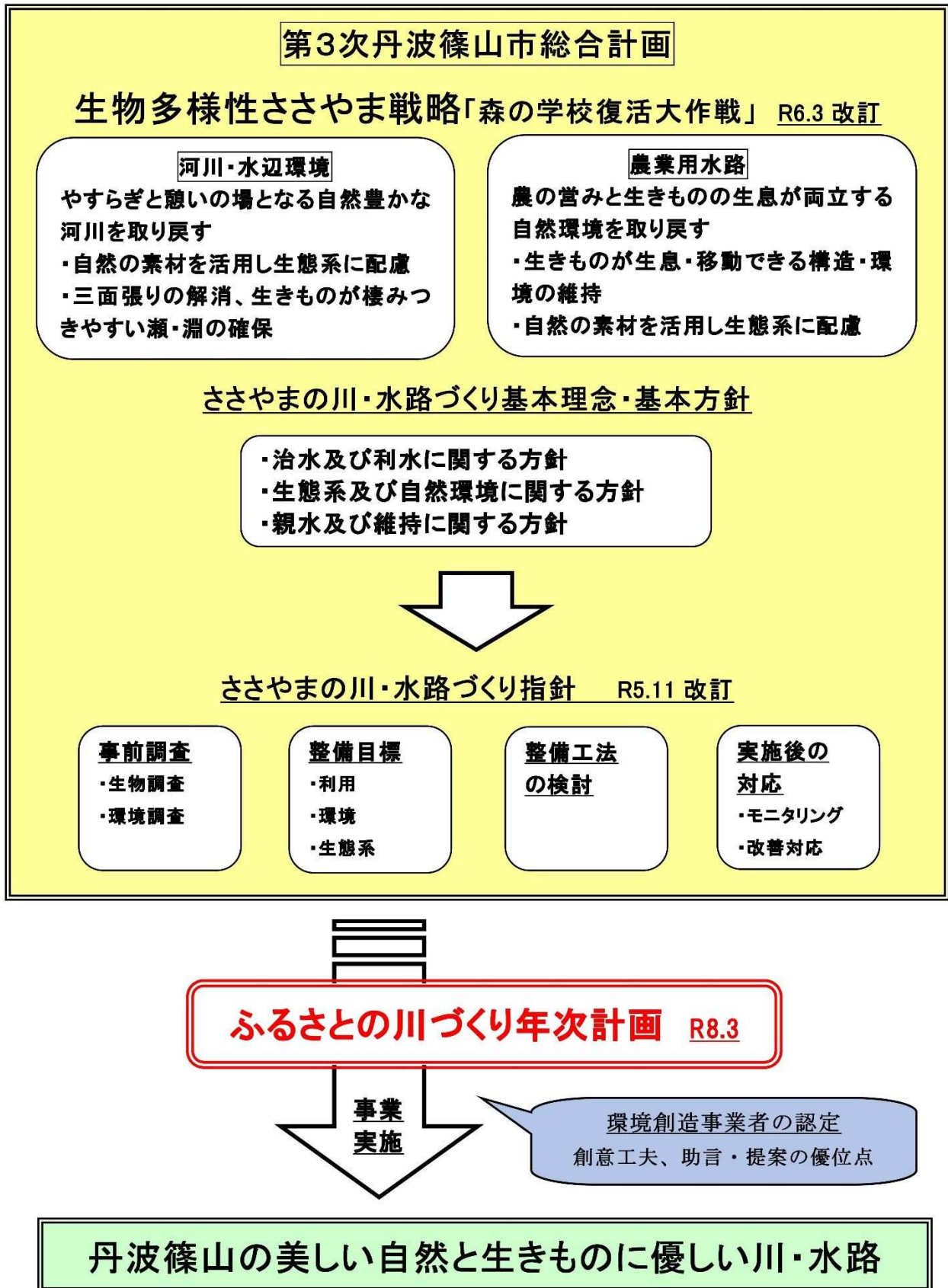
これにより、地域の魅力や自然環境を長期的に保つことも可能となり、持続可能な川づくりとして、令和6年度に実施した市内河川環境調査成果を基に、生物的要素と親水的要素の両面から、地域が一体となった自然と調和した川づくりを実現します。多様な生きもの環境を守り、地域の文化や歴史と共に未来へ続く取り組み計画として、令和8年度を発起年として、丹波篠山市総合計画期間に併せて5年間の年次計画を作成しました。

また、自然災害などの予期せぬ大規模な事態が発生した際や各地域や学校園からの土砂撤去や親水を目的とした要望などを受けた際には、計画の時点変更を検討します。

なお、ふるさと丹波篠山の景観・生物多様性などの自然環境はかけがえのない地域のみなさまの財産であり、未来へ守り育て引き継いでいく必要があります。下記に示す計画・指針などとの関連性を基に、河川・水路などの事業の遂行にあたっては、安全性・利便性・経済性に加え自然の景観や生物多様性に配慮を尽くし、より魅力的なまちづくりをすすめることが大切であるため、ふるさとの自然や景観を守り育てる環境創造における協定事業者と共に取り組みます。**【図Ⅲ ささやまの川・水路づくり関連図】**

### **【付随する関連計画・指針ほか】**

- ・第3次丹波篠山市総合計画
- ・生物多様性ささやま戦略「森の学校復活大作成」
- ・ささやまの川・水路づくり指針
- ・農村環境の生態系保全に配慮した水路整備指針
- ・ふるさとの自然や景観を守り育てる環境創造事業者について



※農業用水路・排水路においては、農村環境の生態系保全に配慮した水路整備指針に基づき事業実施する。

ふるさとの川づくり年次計画表

単位：千円

No.	河川名	場所	施工内容ほか	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13	R14	摘 要	カテゴリー
①	市内河川	市内	ふるさとの川づくりマップ作成	132							15事例 2,000部	事業啓発
②	市内河川	市内	ふるさとの川づくりカード作成【第1弾】		600						10種類×500枚	
---	市内河川	市内	ふるさとの川づくりカード作成【第2弾】						600		10種類×500枚	
---	市内河川	市内	ふるさとの川づくりカード作成【第1弾増刷】						400		10種類×500枚(増刷)	
---	市内河川	市内	ふるさとの川づくりマップリニューアル							200	20事例 2,000部(5実績追加)	
③	(普)山田川	山田	魚道整備 落差解消	4,510							2カ年計画最終年度	生態系配慮
④	(普)初田川	初田	木柵設置 護岸浸食対応	11,319							4カ年計画最終年度	
⑤	(普)篠淵川	川阪	R2魚道 河床洗掘対策 【修繕による機能回復】		500						R6点検による改善対策	
⑥	(一)畑川	畑宮	R3魚道 流路回復対策 【修繕による機能回復】		1,000						R6点検による改善対策	
⑦	城東G横水路	日置	H27モデル 法面崩壊対策 【修繕による機能回復】			1,500					R6点検による改善対策	
⑧	(一)高野川	県守	魚道計画測量・設計 落差部2箇所				4,500				高野川生息域拡大(1/2ケ年)	
⑨	(一)高野川	県守	魚道整備(2連一体) 落差解消					6,000			⑧継続 高野川(2/2ケ年)	
⑩	(一)住吉川	味間新	魚道計画測量・設計 落差部1箇所					3,500			住吉川生息域拡大(2次計画)	
---	(一)住吉川	味間新	魚道整備 落差解消							6,500	⑩継続 住吉川(2次計画)	
⑪	(一)篠山川	草ノ上	親水階段整備 親水・環境教育		4,500						多紀小より階段要望(右岸)	
⑫	(砂)向山川	今田町今田	親水護岸復旧 親水・公園利用		3,500						ふるさと公園隣接河川	
⑬	(普)笹見川	上笹見	親水施設整備 親水・公園利用			5,000					笹見四十八滝公園隣接河川	
⑭	(一)宮田川	高屋	親水階段整備 親水・環境教育			3,500					西紀南小より階段要望(左岸)	
⑮	(一)宮田川	乗竹	親水階段整備 親水・環境教育				5,000				西紀小より階段要望(右岸)	
---	(一)黒岡川	丸山	親水施設整備 親水・公園利用						6,000		丸山自然公園隣接河川	
---	(想定)	市内	点検維持修繕 【修繕による機能回復】						1,000		R11点検による補修	(想定)
---	(想定)	市内	点検維持修繕 【修繕による機能回復】						1,000		R11点検による補修	
---	(想定)	市内	点検維持修繕 【修繕による機能回復】							1,500	R11点検による補修	
計				※概ね15,000千円/年の上限とする。	15,961	10,100	10,000	9,500	9,500	9,000	8,200	

第3次丹波篠山市総合計画期間  
 (後期R8～R12)

- ・計画個票は事業目的の多面的な期待値として、生態系配慮、親水性向上、環境教育効果、観光資源活用の観点から段階評価を示す。
- ・気候変動や災害などの予期せぬ事態対応、各河川管理者事業計画などによる計画の時点変更あり。
- ・各地域からの土砂撤去・護岸復旧などの受付により計画の時点変更あり(追加実施を検討)。
- ・令和11年度はこれまでの取り組み箇所における5年に一度の巡回点検を実施予定(点検年度：令和6・11・16年度)。

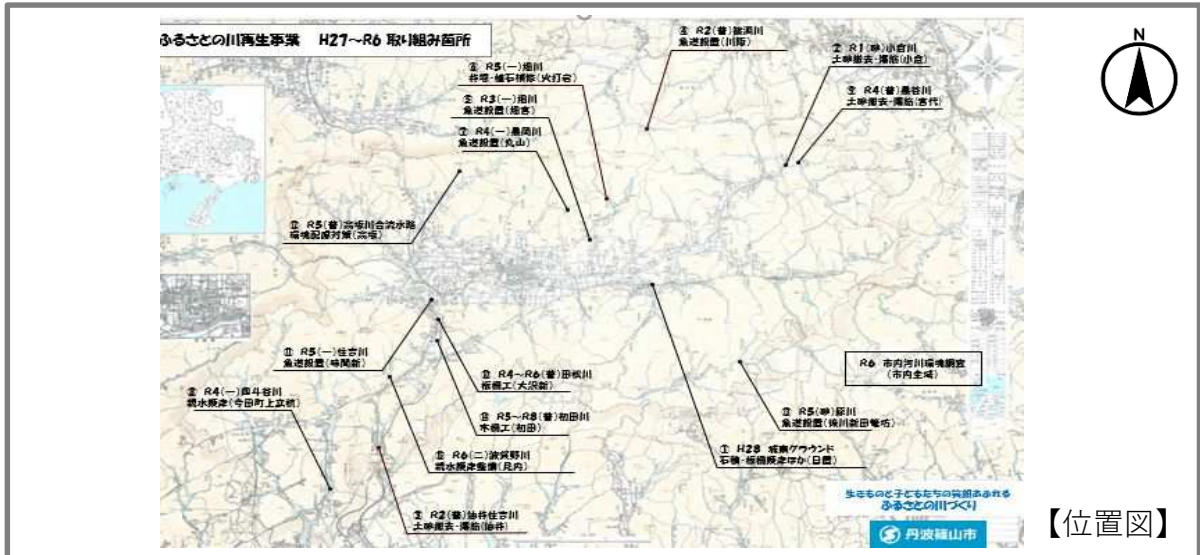
**【検討ほか課題】**

- ・京都府による友瀨川落差解消後の上流域の取り組み検討。
- ・次回計画時(R13～)には各地域より取り組み希望を募る。

【計画個票】

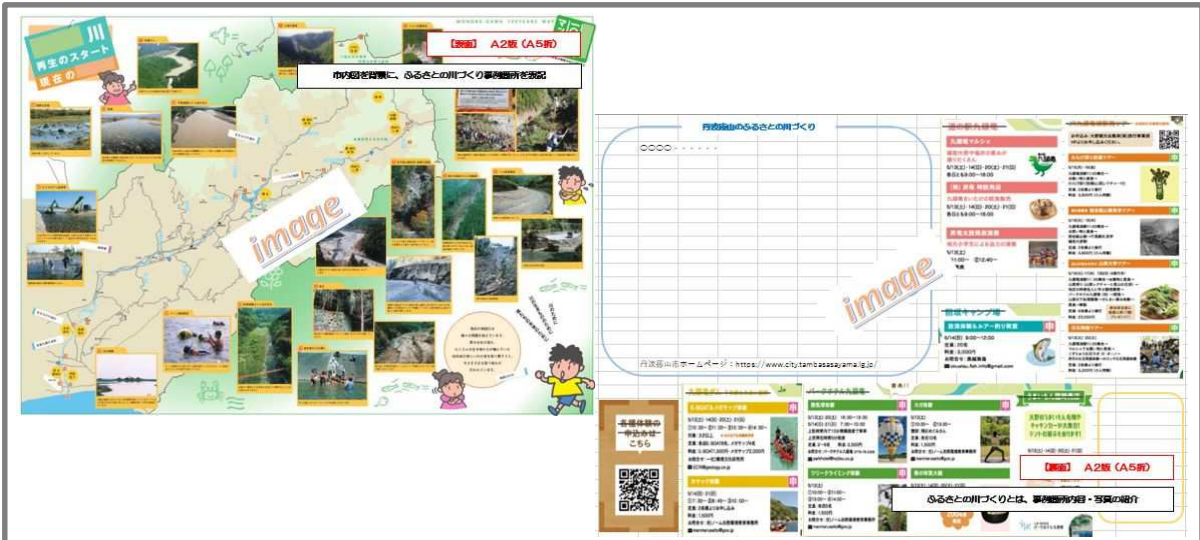
水系名	市内3水系		
河川名	市内河川	管理者	兵庫県、丹波篠山市
場所	丹波篠山市内		

No.	①
生態系配慮	★★★★☆☆
親水性向上	★★★★☆☆
環境教育効果	★★★★☆☆
観光資源活用	★★★★☆☆



【位置図】

事業年度 令和8年度 事業内容 ふるさとの川づくりマップ作成



「ささやまの川・水路づくり指針」に基づき、生態系に配慮した川づくり、親水を目的とした川づくりへの取り組み内容を「丹波篠山ふるさとの川づくりマップ」として整理し、事例紹介をはじめ更なる事業啓発を図る。また、併せて地域の魅力発信を行い、市外の方への観光資源としての活用を図る。

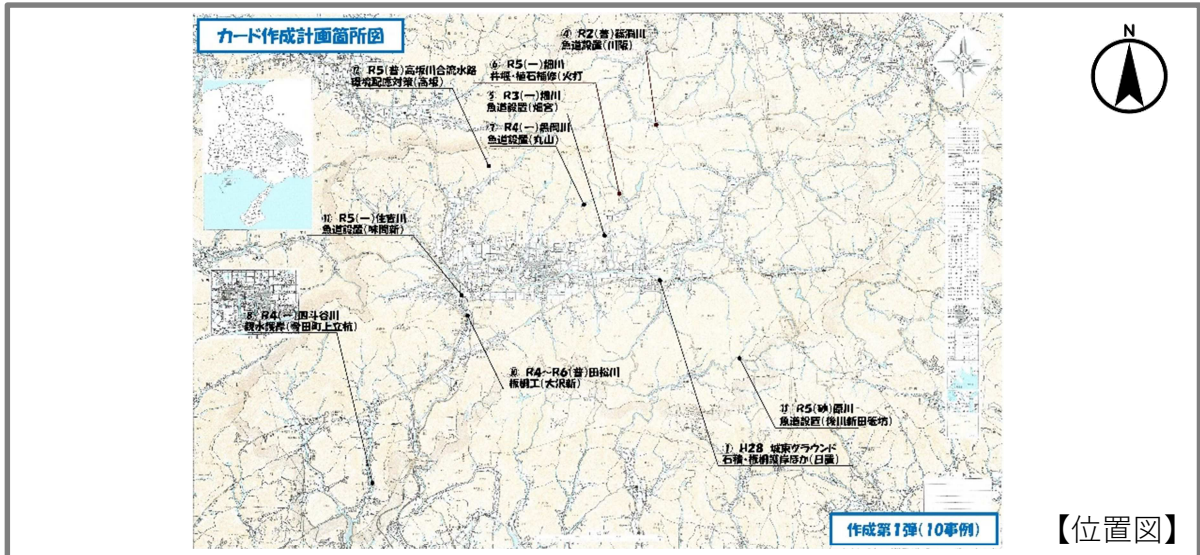
令和27年度～令和6年度 実績数：15箇所。  
 取り組み情報整理、読み取りQRコード作成ほか（サイズA2・折込みA5・2,000部）  
 C = 132千円

【取組計画】

【計画個票】

水系名	市内3水系		
河川名	市内河川	管理者	兵庫県、丹波篠山市
場所	丹波篠山市内		

No.	②
生態系配慮	★★★★☆☆
親水性向上	★★★★☆☆
環境教育効果	★★★★☆☆
観光資源活用	★★★★☆☆



事業年度 令和9年度 事業内容 ふるさとの川づくりカード作成【第1弾】

**RIVER-DATA**

等級：一級河川  
 水系：荒川水系  
 河川名：隅田川  
 延長：23.5km  
 流域面積：690.3 km<sup>2</sup> (新河岸川流域を含む)

**隅田川の概要**

隅田川は北区にある岩淵水門で荒川から分派した後、新河岸川、石神川、神田川等を含み、東京都東部の谷川7区(荒川区、台東区、台東区、中央区、江東区)を流し、東京湾へ注ぐ荒川水系の一級河川である。

隅田川はもとより下流部であったが、明治43年の水害を契機に荒川放水路が作られ、その後、昭和39年の河川法改正により放水路を荒川、岩淵水門から下流、東京湾までの区間が隅田川と定められた。

**ランダム情報**

隅田川では、防潮堤の地震に対する安全性をより高めるため、コンクリートによる防潮堤を改築し、盛土によるスーパー堤防の整備をすすめている。

写真中央の高層マンションが林立するエリアでは、石川島播磨重工業の工場跡地再開発に併せてスーパー堤防を整備した。

河川管理月間HP

平成27年度の日置地内のモデル事業をはじめ、これまでのふるさとの川づくりにおける取り組み内容を含め、紹介・啓発・利用促進を図る。

【第1弾】 令和9年度 H27～R6までの取り組み事例10箇所のカード化。

【第2弾】 令和13年度予定 R5～R12までの取り組み事例(計画)10箇所のカード化。

C = 600千円

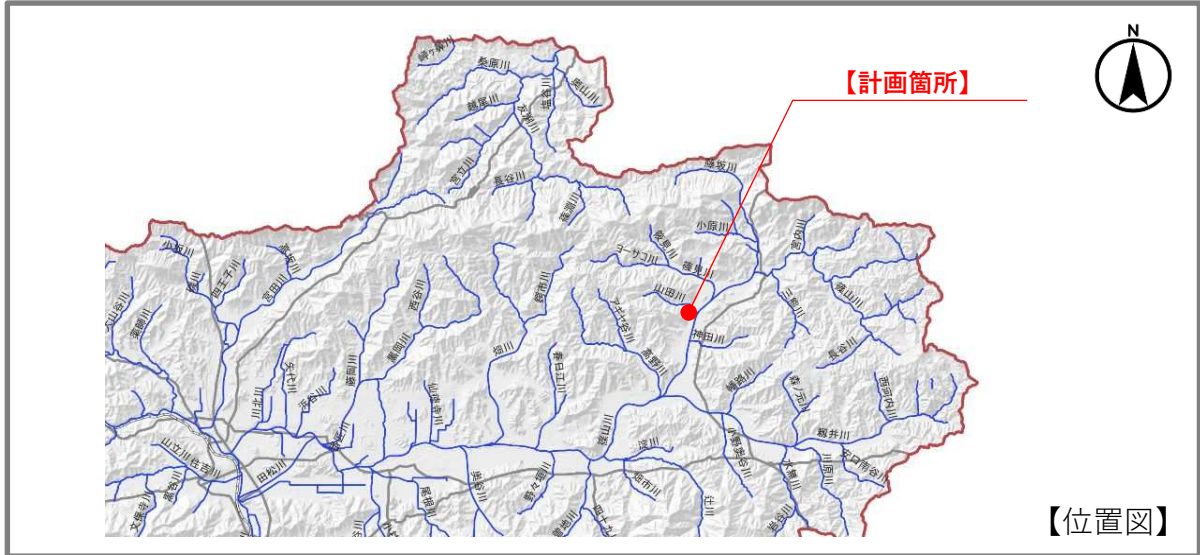
【取組計画】

【計画個票】

水系名 加古川水系  
 河川名 普通河川山田川 管理者 丹波篠山市  
 場所 丹波篠山市 山田 地内

No. ③

生態系配慮 ★★★★★  
 親水性向上 ★★★☆☆  
 環境教育効果 ★★★★★  
 観光資源活用 ★☆☆☆☆



事業年度 令和8年度 事業内容 魚道整備（生態系配慮）



山田自治会からの普通河川山田川における落差部（生きものの遡上阻害箇所）への対応要望により、測量・設計、本工事と2か年に渡る計画により、生態系に配慮した川づくりを実施する。

令和7年度 落差部における魚道計画（測量・設計）の実施。

令和8年度 魚道設置工事による生態系に配慮した整備を実施。

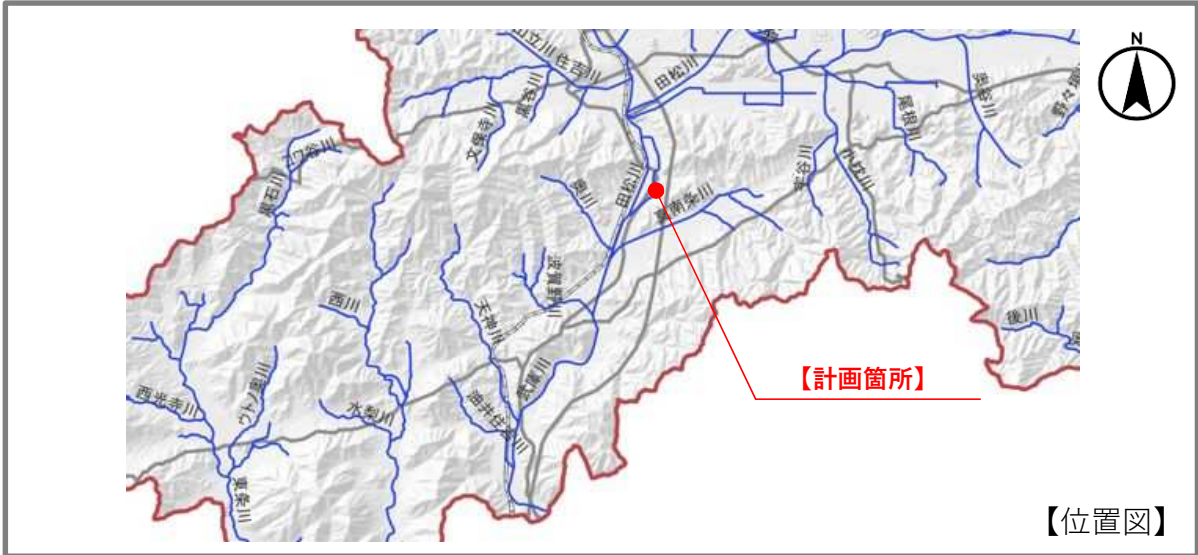
C = 4, 510千円

【取組計画】

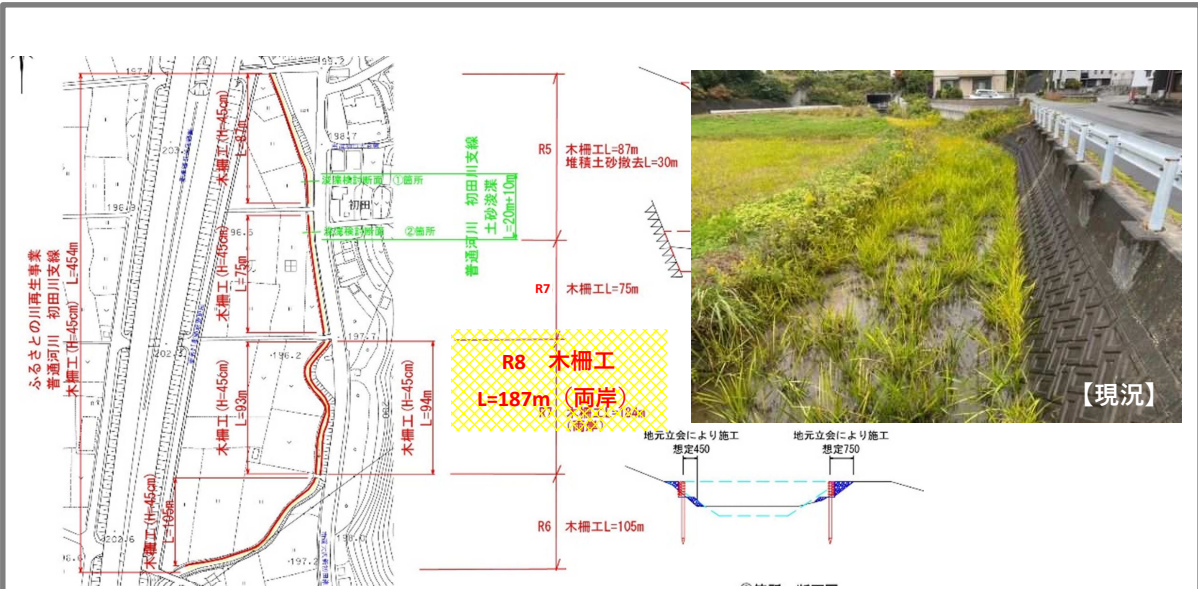
【計画個票】

水系名	武庫川水系		
河川名	普通河川初田川	管理者	丹波篠山市
場所	丹波篠山市 初田 地内		

No.	④
生態系配慮	★★★★★
親水性向上	★★☆☆☆
環境教育効果	★★☆☆☆
観光資源活用	★★☆☆☆



事業年度 令和8年度 事業内容 木柵設置（木材活用護岸）



初田自治会からの普通河川初田川支川護岸の浸食復旧と堆積土砂撤去による要望により、令和5年度からの継続した4カ年の計画にて、全体延長454mの木柵による復旧工事。

令和8年度 L = 187m

C = 11,319千円

令和8年度を最終年度とし要望対応予定。

【取組計画】

【計画個票】

水系名	由良川水系		
河川名	普通河川篠淵川	管理者	丹波篠山市
場所	丹波篠山市 川阪 地内		

No.	⑤
生態系配慮	★★★★★
親水性向上	★☆☆☆☆
環境教育効果	★★★★☆
観光資源活用	★☆☆☆☆



事業年度 令和9年度 事業内容 R2魚道整備後の河床洗堀補修（下流接続部）

【課題 魚道下流部の河床洗堀】

【提案 袋詰め玉石設置】

令和2年度実施の普通河川篠淵川魚道設置箇所直近下流において、令和6年度の巡回・点検において河床洗堀（水深0.80m程度）を確認したため補修を実施する（整備後の経過年数5年）。

魚道下流部と既存河床の接続部分の洗堀であり、袋詰め玉石設置にて洗堀部分の回復を図り、生きものの遡上効果を持続する。

補修内容においては、環境創造事業者からの補修提案に基づく。

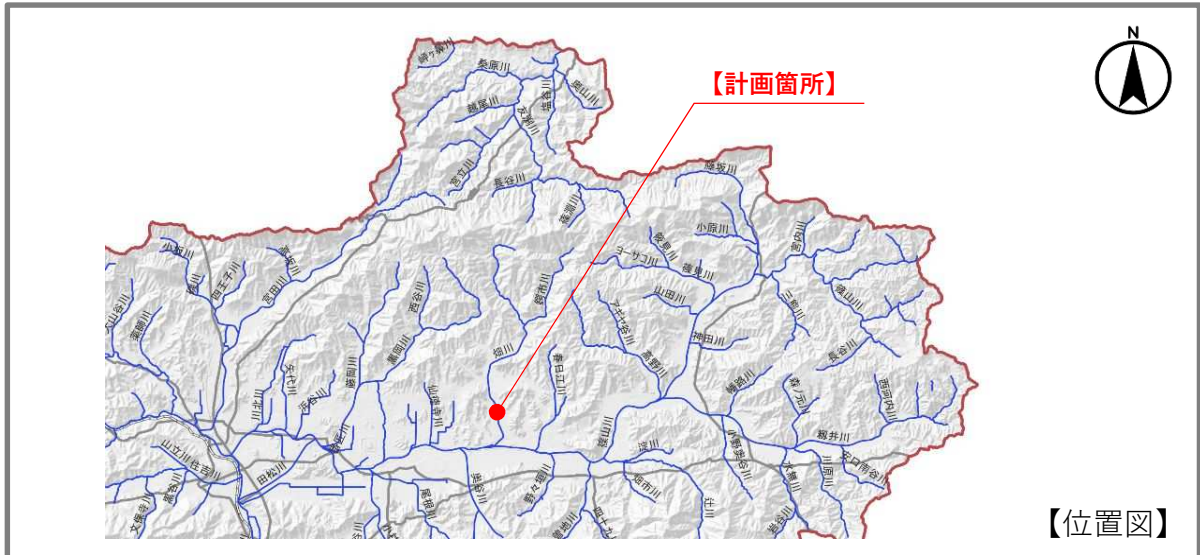
C = 500千円

**【取組計画】**

【計画個票】

水系名	加古川水系		
河川名	一級河川畑川	管理者	丹波篠山市
場所	丹波篠山市 畑宮 地内		

No.	⑥
生態系配慮	★★★★★
親水性向上	★☆☆☆☆
環境教育効果	★★★★☆
観光資源活用	★☆☆☆☆



事業年度 令和9年度 事業内容 R3魚道整備後の流路補修（呼び水対策）

【R3畑川 魚道整備】

機能低下

呼び水工及び法尻部洗堀防止植石工  
植石 直径1.0m程度 据付

令和3年度実施の一級河川畑川魚道設置箇所の既存落差部から水流の流路において、令和6年度の巡回・点検において魚道機能の低下を確認したため補修を実施する（整備後の経過年数4年）。

魚道においては右岸側からの片緩傾斜構造を形成しているが、現状流路が左岸側が主流経路となっているため、右岸側への呼び水を図り、生きものの遡上効果を持続する。

補修内容においては、環境創造事業者からの補修提案に基づく。

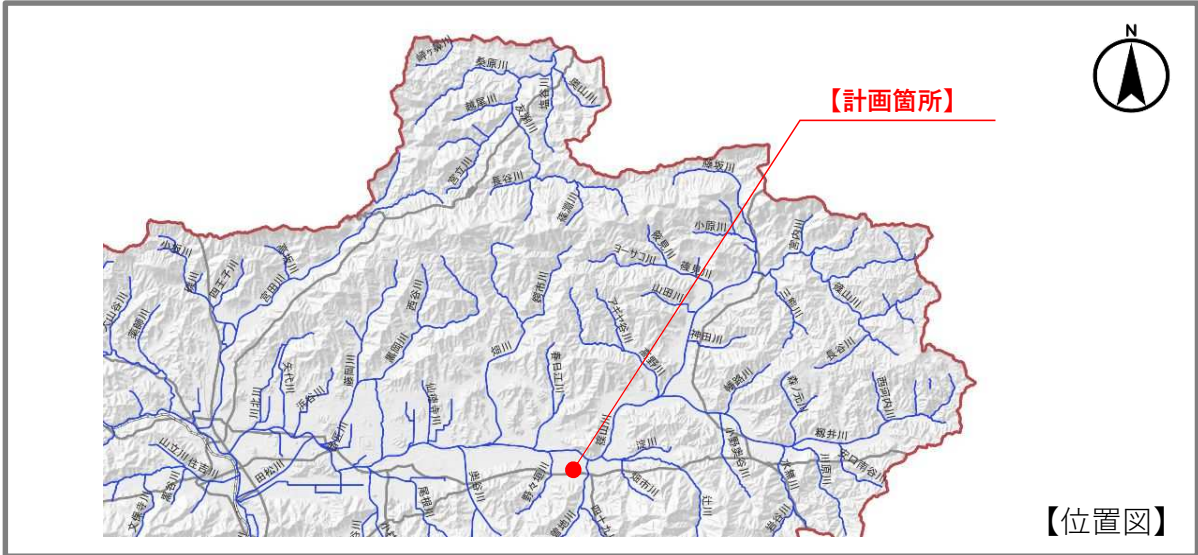
C = 1, 000千円

【取組計画】

【計画個票】

水系名	加古川水系		No.	⑦
河川名	城東グラウンド横水路	管理者	丹波篠山市	
場所	丹波篠山市 日置 地内			

生態系配慮	★★★★★
親水性向上	★★★★★
環境教育効果	★★★★★
観光資源活用	★☆☆☆☆



事業年度 令和10年度 事業内容 H27モデル事業法面ほか補修（自然木活用部分）



平成27年度ふるさとの川再生モデル事業にて整備した多自然型川づくりにおいて、令和6年度の巡回・点検時に木材活用による護岸形成部分の腐食・劣化が激しく法面が崩れるなど、維持管理が困難な状態となっている。

堆積土砂への滞筋形成を含め、整備時の施工内容を基本とし、生きものの生息区域や親水空間を回復させ、丹波篠山に相応しい水路づくりのモデルとなる姿を取り戻します。

補修においては環境創造事業者との協議・調整を図り実施する。

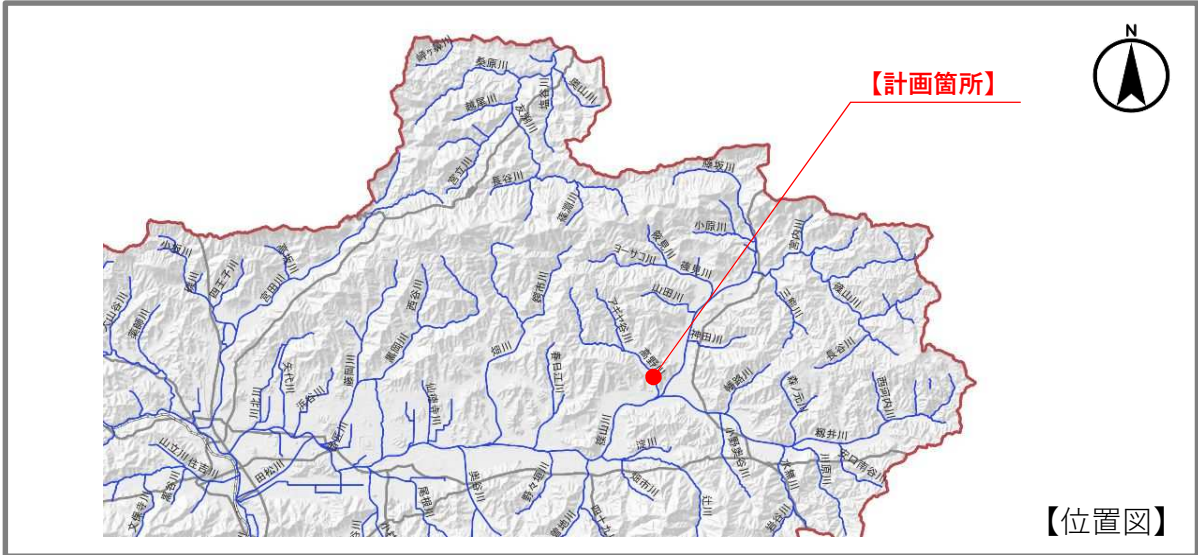
C = 1, 500千円

【取組計画】

【計画個票】

水系名	加古川水系		
河川名	一級河川高野川	管理者	兵庫県
場所	丹波篠山市 県守 地内		

No.	⑧
生態系配慮	★★★★★
親水性向上	★☆☆☆☆
環境教育効果	★★★★☆
観光資源活用	★☆☆☆☆



事業年度 令和11年度 事業内容 魚道計画における測量・設計



一級河川篠山川支流の高野川において、本流から概ね300m上流に2連の落差工による生きもの遡上阻害を起因している。

複数の落差部解消による生きものの生息域拡大・遡上効果発現へ向け、既存の2連落差工の一体的な解消への測量・設計を行い、効率的且つ効果的な生態系への配慮を行い、農村地域における生きものにやさしい川づくりを計画する。

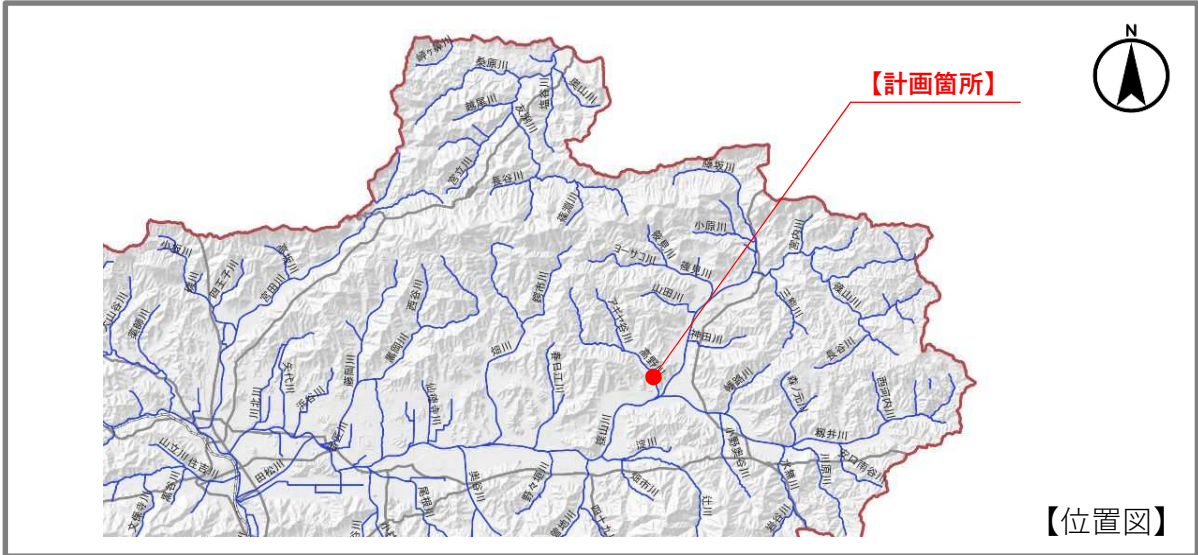
C = 4,500千円 (1/2カ年)

【取組計画】

【計画個票】

水系名	加古川水系		
河川名	一級河川高野川	管理者	兵庫県
場所	丹波篠山市 県守 地内		

No.	⑨
生態系配慮	★★★★★
親水性向上	★☆☆☆☆
環境教育効果	★★★★☆
観光資源活用	★☆☆☆☆



事業年度 令和12年度 事業内容 魚道整備（生態系配慮・2連一体型）

【現況】

【高野川 2連魚道計画】

【施工後】

（下流左岸側の既存の深みを残し、右岸側にて2連一体型の階段式魚道を形成。）

【深み部分】

一級河川篠山川支流の高野川において、本流から概ね300m上流に2連の落差工による生きもの遡上阻害を起因しているため、生息域拡大・遡上効果発現へ向け、既存の2連落差工の一体的な解消への施設整備を行い、効率的且つ効果的な生態系への配慮を行い、農村地域における生きものにやさしい川づくりを実現する。

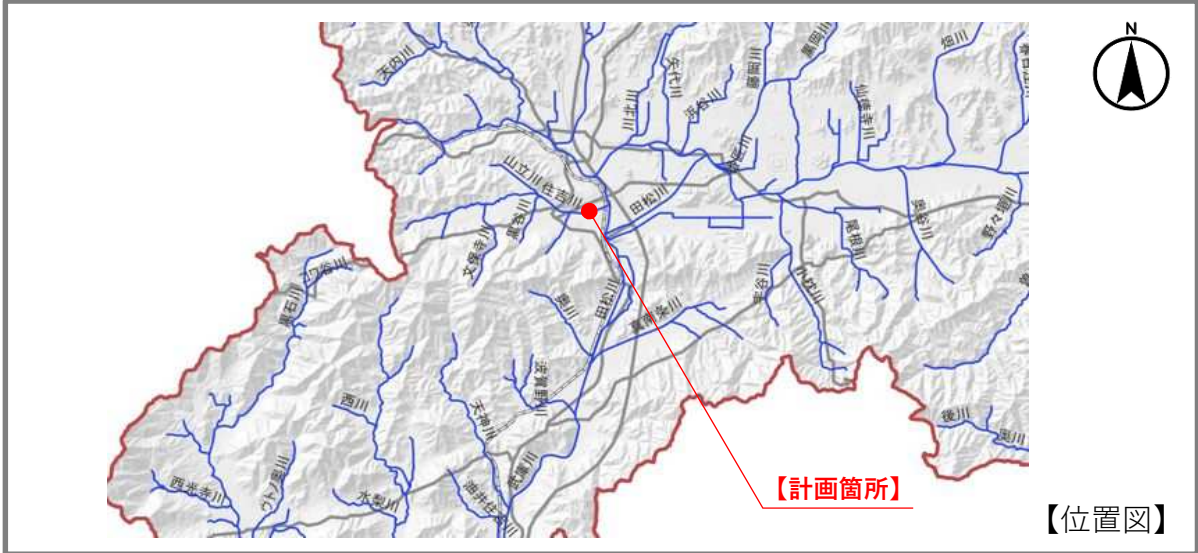
C = 6,000千円（2/2カ年）

【取組計画】

【計画個票】

水系名	加古川水系		
河川名	一級河川住吉川	管理者	兵庫県
場所	丹波篠山市 味間新 地内		

No.	⑩
生態系配慮	★★★★★
親水性向上	★☆☆☆☆
環境教育効果	★★★★☆
観光資源活用	★☆☆☆☆



事業年度 令和12年度 事業内容 魚道計画における測量・設計（住吉川2次計画）

住吉川全体計画

全体計画③地点 【住吉川 魚道計画】

左岸側への土砂堆積する流路線形より、右岸側にて片側緩傾斜式魚道を計画。また施設管理に伴う昇降階段の設置も併せて検討。

令和5年5月完成の味間小学校前の落差部への魚道整備により、生きものの遡上による生態系効果と児童・園児の水辺活用による親水的効果・教育的効果の発現に至る。本流である篠山川からは、残り4箇所の高低差が大きい落差工があるため、生きものの遡上効果を発現するため、住吉川への生態系区域拡大への配慮計画を継続する。

魚道計画（落差1m程度）への現地測量・設計を実施する。

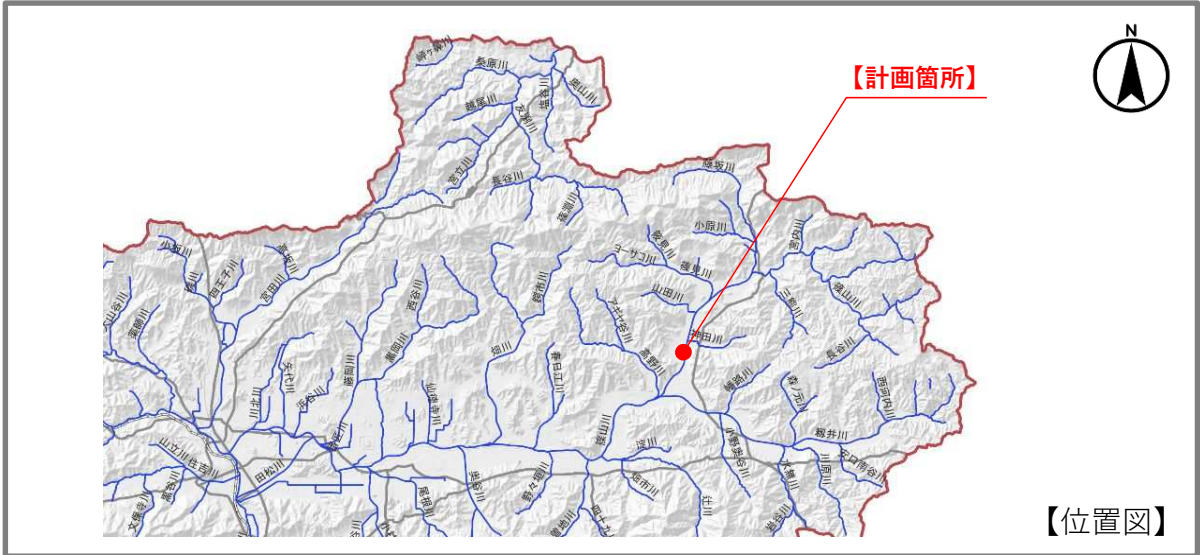
C = 3, 500千円

【取組計画】

【計画個票】

水系名	加古川水系		No.	⑪
河川名	一級河川篠山川	管理者	兵庫県	
場所	丹波篠山市 草ノ上 地内			

生態系配慮	★★☆☆☆
親水性向上	★★★★★
環境教育効果	★★★★★
観光資源活用	★★☆☆☆



【位置図】

事業年度 令和9年度 事業内容 親水階段整備（多紀小学校設置要望）



多紀小学校より徒歩2分（国道173号沿い）

多紀小学校からの相談を受け、環境学習の一環として教科書では学ぶことができないその地域の生きものの生息状況などの自然環境において、次世代を担う児童などへの環境意識の向上を目的とし、水辺へのアプローチを可能とするため、小学校近隣河川への階段を整備する。

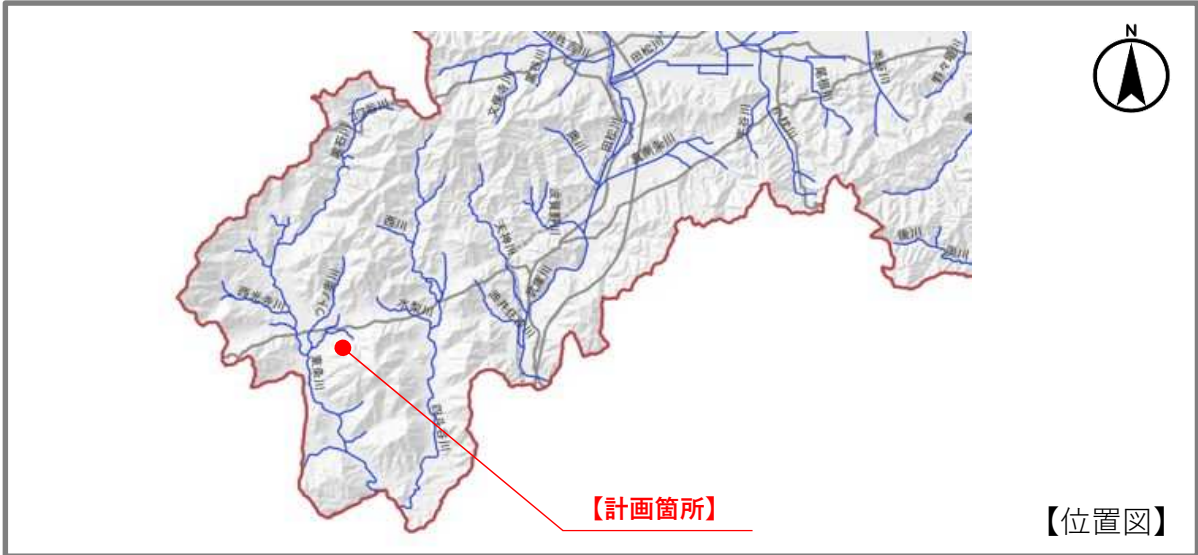
市が主体とする環境教育へのエコ・ティーチャーなどの出前講座を積極的に行い、子どもたちの水辺と触れ合う機会を通じて川の持つ役割や大切さを伝え、次世代への継承へ取り組みます。

C = 4, 500千円

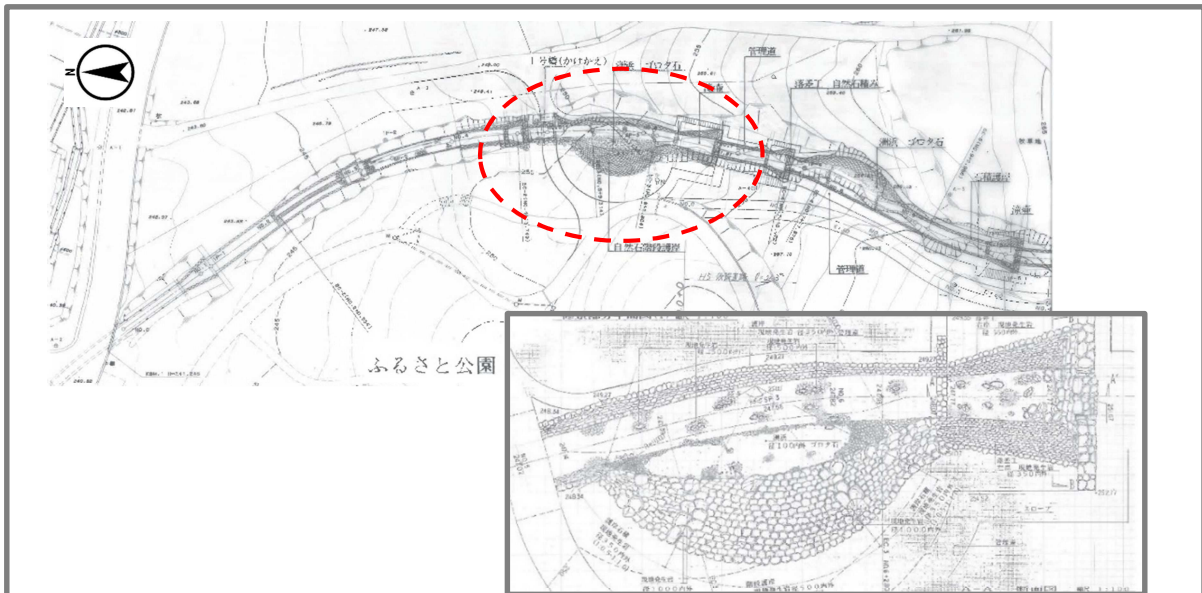
【取組計画】

**【計画個票】**

水系名 加古川水系		No.	⑫
河川名 砂防河川向山川	管理者 兵庫県	生態系配慮 ★☆☆☆☆	
場所 丹波篠山市 今田町今田 地内		親水性向上 ★★★★★	
		環境教育効果 ★★★☆☆	
		観光資源活用 ★★★★★	



事業年度 令和9年度 事業内容 親水護岸復旧（ふるさとの公園隣接）



平成5年度にてふるさと公園整備計画に併せて隣接する向山川の改修工事を実施し、石積護岸や親水階段などの多自然型河川づくりを形成しているが、自然木などの繁茂により利用空間を損ね立寄りがない状況にある。

既存施設を回復することで、ふるさとの公園利用者や来訪者における親水利用空間の確保により、道の駅との関連性による賑わいの創出などの発現へ取り組みます。

C = 3, 500千円

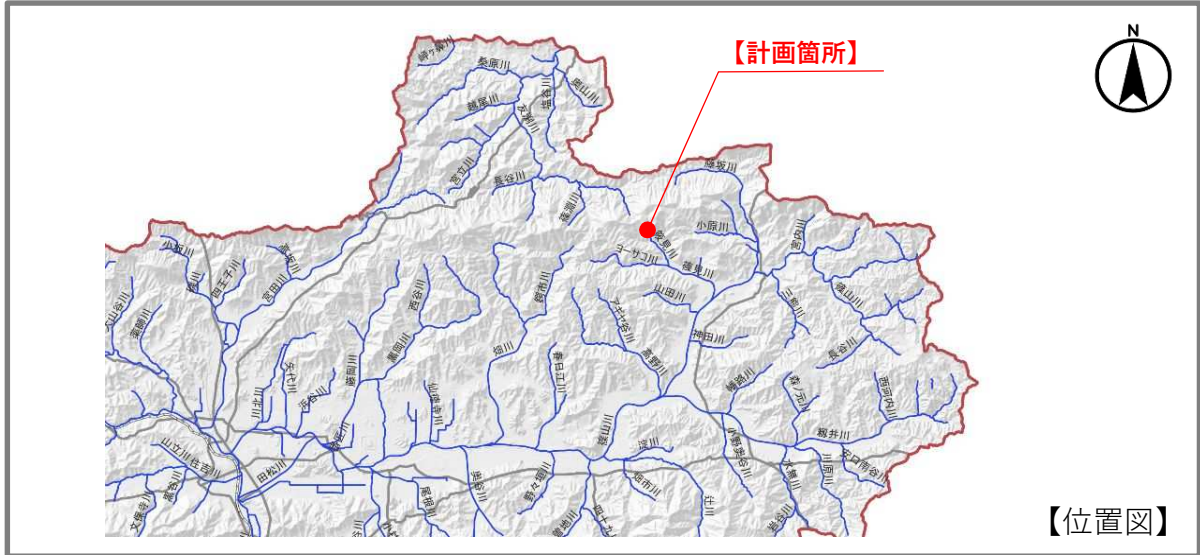
**【取組計画】**

【計画個票】

水系名 加古川水系  
 河川名 普通河川篠見川 管理者 丹波篠山市  
 場所 丹波篠山市 上篠見 地内

No. ⑬

生態系配慮 ★☆☆☆☆  
 親水性向上 ★★★★★  
 環境教育効果 ★★☆☆☆  
 観光資源活用 ★★★★★



事業年度 令和10年度 事業内容 親水施設整備（篠見四十八滝自然公園利用）



【親水施設整備箇所】



一級河川篠山川支流である篠見川の最上流域に位置する篠見四十八滝自然公園において、隣接する河川護岸を活用した親水施設整備により、水辺へのアプローチを容易にし、更なる自然豊かな公園利用への多様化を図る。

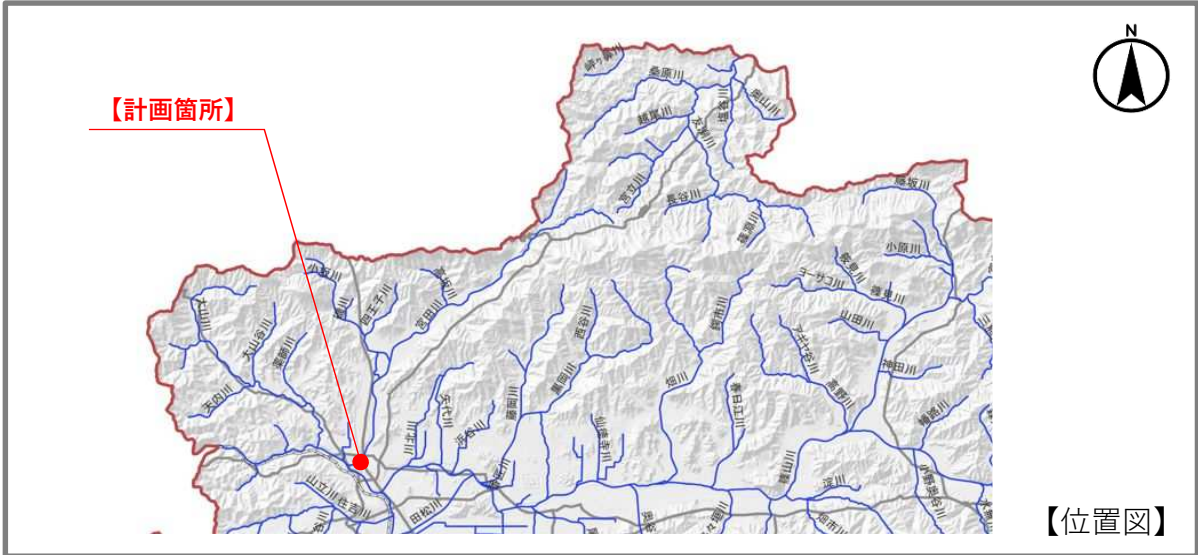
当公園内は、駐車スペースや公衆用トイレ、またBBQ・炊事場などのキャンプ施設の備えも充実しており、観光資源の活用を踏まえた親水的要素により、家族層などの来訪者への活用による相乗効果を目指す。

C = 5, 000千円

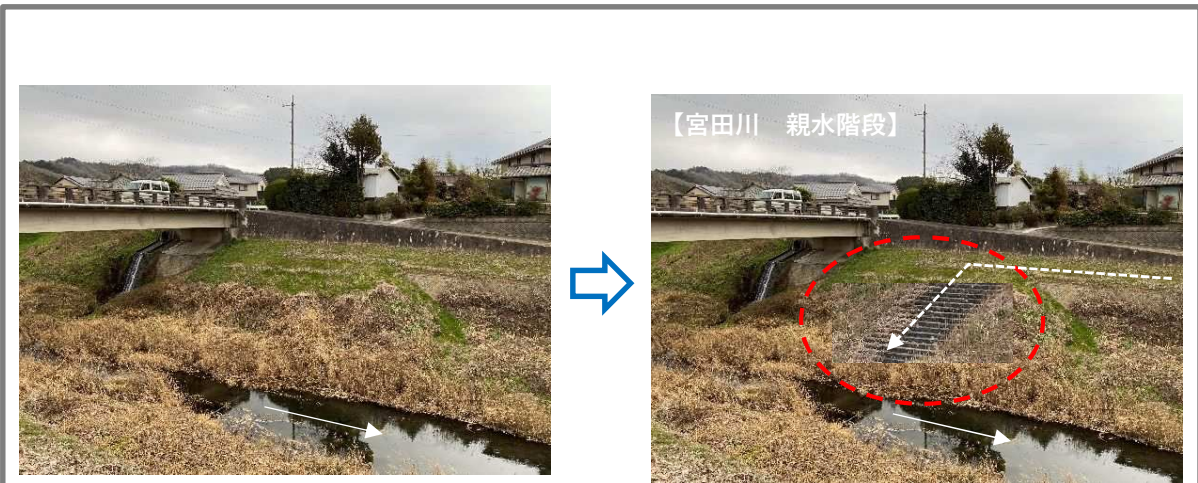
【取組計画】

**【計画個票】**

水系名	加古川水系		No.	⑭
河川名	一級河川宮田川	管理者	兵庫県	
場所	丹波篠山市 高屋 地内			
			生態系配慮	★★★★☆
			親水性向上	★★★★★
			環境教育効果	★★★★★
			観光資源活用	★★☆☆☆



事業年度 令和10年度 事業内容 親水階段整備（西紀南小学校設置要望）



西紀南小学校より徒歩12分  
(市道新田川西線)

西紀南小学校からの相談を受け、環境学習の一環として教科書では学ぶことができないその地域の生きものの生息状況などの自然環境において、次世代を担う児童などへの環境意識の向上を目的とし、水辺へのアプローチを可能とするため、小学校近隣河川への階段を整備する。

市が主体とする環境教育へのエコ・ティーチャーなどの出前講座を積極的に行い、子どもたちの水辺と触れ合う機会を通じて川の持つ役割や大切さを伝え、次世代への継承へ取り組みます。

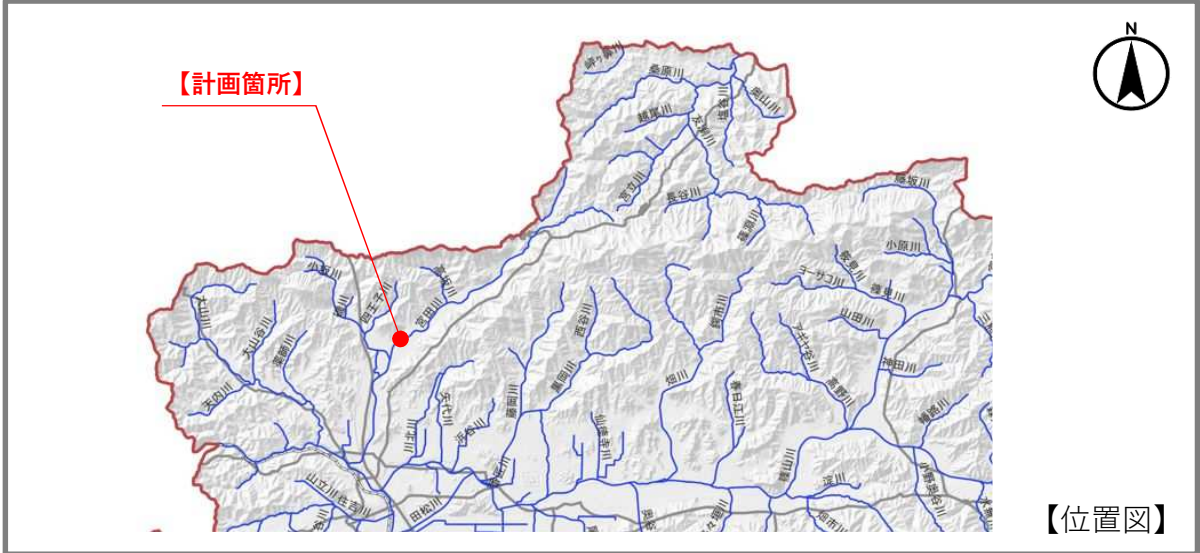
C = 3, 500千円

**【取組計画】**

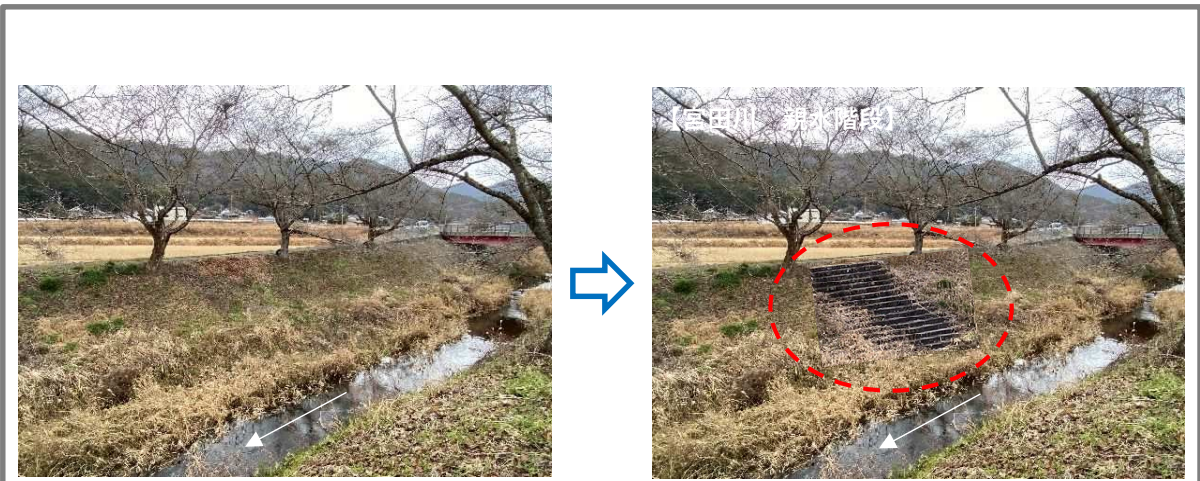
**【計画個票】**

水系名	加古川水系		No.	⑮
河川名	一級河川宮田川	管理者	兵庫県	
場所	丹波篠山市 乗竹 地内			

生態系配慮	★★☆☆☆
親水性向上	★★★★★
環境教育効果	★★★★★
観光資源活用	★★☆☆☆



事業年度 令和11年度 事業内容 親水階段整備（西紀小学校設置要望）



西紀小学校より徒歩3分  
(市道打坂乗竹線)

西紀小学校からの相談を受け、環境学習の一環として教科書では学ぶことができないその地域の生きものの生息状況などの自然環境において、次世代を担う児童などへの環境意識の向上を目的とし、水辺へのアプローチを可能とするため、小学校近隣河川への階段を整備する。

市が主体とする環境教育へのエコ・ティーチャーなどの出前講座を積極的に行い、子どもたちの水辺と触れ合う機会を通じて川の持つ役割や大切さを伝え、次世代への継承へ取り組みます。

C = 5, 000千円

**【取組計画】**

## 終わりに

今回のふるさとの川づくり年次計画の作成にあっては、丹波篠山市環境基本計画庁内推進会議「ふるさとの川づくりワーキングチーム」メンバーにより、ふるさとの川再生事業によるこれまでの取り組み箇所への巡回による補修・改善対策をはじめ、市内の夏季の河川利用巡回調査を実施するなど、生物的要素と親水的要素の両面から検討し、各学校園などからの水辺へのアプローチ要望などを踏まえ、令和8年度からの概ね5年間の計画検討を進めてきました。

丹波篠山の川は、観光資源としても重要な役割を担っております。川遊びをはじめ、公園との連動性の確保による多様な賑わい・河川空間への活用など、市内外からの訪れる人々にとって魅力的な川の姿を維持することで、ファミリー層などの利活用として教科書では学べない環境学習の重要な施設として様々なレクリエーションが楽しめる場となります。

地域のボランティアや学生が参加する定期的な清掃活動など、地域が主体となった保全活動に取り組むことで、周辺環境の整備が図られ、河川環境美化に向けた意識を高めるとともに、地域のみなさまが積極的に河川への関わる機会を通じて愛着と関心を深めることが期待できます。水辺に親しみを深める活動を通じて、地域の魅力を再発見し、訪れる人々にとっても魅力的な場所としての提供も可能となり、地域社会の活性化として持続可能なまちづくりへの一歩ともなります。

また、学校園や地域と連携し、川の重要性や生態系について、行政によるエコ・ティーチャーなどの出前講座を通じた教育学習を実施し、将来を担う子どもたちに川の持つ役割や大切さを伝え、次世代への継承を目指します。出前講座などのワークショップに加え、これまでの川づくりへの取り組み箇所の紹介によるフィールド活用を通じて、特色ある各地域の生態系などの自然環境の魅力への理解を深めることを目的に継続します。

丹波篠山市環境基本計画庁内推進会議「ふるさとの川づくりワーキングチーム」をはじめとした各関係部署を基本とし、これまでからの取り組み箇所への継続したモニタリングをはじめ、5年に一度の頻度による巡回・点検などの定期的な維持管理を図り、河川環境が持つ機能を最大限に引き出すとともに、更にオープンで魅力的な空間創りとして丹波篠山に相応しい川づくりに取り組みます。

各自治会や学校園などの地域のみなさまにおかれましては、丹波篠山のふるさとの川づくりへの賛同を基にしたお悩みやご要望がありましたら、市職員にて構成する「ふるさとの川づくりワーキングチーム」へご相談ください。

最後に、丹波篠山のふるさとの川づくりは、行政、地域、学校関係者、そして協定を結ぶ市内の環境創造事業者などの関係機関の人々が一体となって取り組むことで地域を築く基盤となります。水辺エリアと地域のみなさまの生活圏が有機的につながり、川を通じて地域社会が一つになることで愛着を深めていくこととなります。水辺の魅力とそれを支える生態系を大切にしながら、川を起点とした賑わいが広がる未来への道筋を照らしていきたいものです。



宮田川にて（丹波篠山市 垣屋）



令和8年3月作成

丹波篠山市環境基本計画庁内推進会議  
「ふるさとの川づくりワーキングチーム」



R6.7.16 かやのみ幼稚園児による親水体験（かじかの里公園内）